学校番号	416

令和８年度　家庭科

教科	専門教科 家庭	科目	(学) 保育実習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭基礎で学習した保育分野を基礎として、さらに保育基礎を学習し、知識を積み重ねたうえで実習中心に授業を展開する。また、乳幼児の簡単な被服製作や離乳食や幼児食などの調理実習、おもちゃ製作などを行う。こども園や子育て支援センターを訪問し、乳幼児とその保護者との交流を通して、将来、子どもに関わる仕事に携わる者だけでなく、親となるための知識や技術について実践的・発展的に応用し、子どもと接することができることをめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
子どもの生活様式について理解し、さらに実習を通して子どもの造形活動、言語表現活動、音楽・身体表現活動を体験し、子どもの健やかな成長に寄与する活動について理解するとともにそれらに関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
子どもの様々な生活場面について、観察・考察することで、子どもを取り巻く課題を見出し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。また、表現活動の中で、創意工夫する能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
子どもの健やかな発達をめざして、交流やグループワークを通して、協働的に取り組む態度や保育者として人の気持ちに寄り添う感性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの生活様式について理解し、さらに造形活動、言語表現活動、音楽・身体表現活動を体験し子どもの発達や特性に合った保育の技術を総合的に身に付けている。	子どもの様々な生活場面を観察・考察することで保育や子育て支援などについて、充実向上を図るための課題を見出し、その解決の為に思考・工夫し、適切に判断する能力を身に付け、課題を解決する力を身につけている。	交流やグループワークを通して、子どもの健やかな発達をめざして、保育などについて興味・関心をもち、その充実向上をめざして主体的・協働的に取り組むとともに、子育て支援に必要な実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		名札製作	a:乳幼児とその保護者との交流会や子ども園訪問の際に名札が必要であることを理解し、適切な名札製作のための技術を身につけている。 b:乳幼児に接するときに適する名札の材質や大きさ、形などを考え、自分でデザインを考え、創意工夫して名札を作成することができる。 c:名札の必要性を理解し、乳幼児が興味・関心を持つことができる名札を製作するために積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント 作品製作	ワーク レポート 振り返りシート
		保育技術検定３級取得をめざして	a:保育検定３級には言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術があることを理解し、取得するための知識と技術を身につけている。 b:言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術習得の留意点を理解し、合格をめざすために練習を重ねる。また、練習の中で、子どもとの関わり方についても適切に判断する態度が身についている。 c:言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術の各分野について、興味・関心を持ちながら、積極的・意欲的に取り組む態度が身につき、３級を取得する。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント 実技テスト	ワーク レポート 振り返りシート

		行事作品製作（七夕飾り）	a:年中行事や伝統行事について理解し、作品製作のための技術を身につけている。 b:行事の意味を理解し、季節感や行事を通して子ども達に伝えたいことを考え、適した材料やデザインを考え、創意工夫した作品製作ができる。 c:行事の大切さ、伝承していくことの必要性を理解し、乳幼児が興味・関心を持つことができる七夕飾りを製作するために積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント 作品製作	ワーク レポート 振り返りシート
		保育技術検定3級受験	a:言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術の合格のための留意点を理解し、取得するための知識と技術を身につけている。 b: 言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術の３級合格のための問題点を見出し、解決ために思考・工夫し課題を解決する能力を身につけている。また、その中で、子どもとの関わり方についても適切に判断する態度が身についている。 c:言語表現技術、音楽・リズム表現技術、家庭看護技術、造形表現技術の各分野について、興味・関心をもちながら、合格をめざすために積極的・意欲的に練習を重ねる態度が身につき、３級を取得する。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント 実技テスト	ワーク レポート 振り返りシート

		おもちゃ製作	a:各年齢（0 歳、1～2 歳、3～4 歳、5～6 歳）の発育過程や発達段階について理解し、それに応じた児童文化財としてのおもちゃ製作のための技術を身につけている。 b:児童文化財の一つとしてのおもちゃを通して各年齢に応じた発達を促すために必要なことを考え、適した材料やデザインを考え、創意工夫したおもちゃ製作ができる。 c:児童文化財の一つとしてのおもちゃが発達過程にある乳幼児には必要であること、また発達段階に応じたおもちゃが必要であることを理解し、乳幼児が興味・関心を持つことができるおもちゃを製作するために積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実 技 テスト	ワーク プリント 作 品 製作	ワーク レポート 振り返りシート
		行事作品製作(クリスマス飾り)	a:年中行事や伝統行事について理解し、作品製作のための技術を身につけている。 b:行事の意味を理解し、季節感や行事を通して子ども達に伝えたいことを考え、適した材料やデザインを考え、創意工夫した作品製作ができる。 c:行事の大切さ、伝承していくことの必要性を理解し、乳幼児が興味・関心を持つことができるクリスマス飾りを製作するために積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実 技 テスト	ワーク プリント 作 品 製作	ワーク レポート 振り返りシート

		スタイ製作	a:子どもの生活習慣や食事、衣服、安全等に関する知識を身につけている。また、被服製作等に関する技術を身につけている。 b:子どもに適する衣服等について考え、判断することができ、生活習慣・健康管理について課題を見出し、考え、判断する態度が身についている。 c:被服製作に興味・関心を持ち、積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント 作品製作	ワーク レポート 振り返りシート
		離乳食・幼児食の実習	a:子どもの生活習慣や食事、衣服、安全等に関する知識を身につけている。また、乳幼児の離乳食・幼児食づくりに関する技術を身につけている。 b:子どもに適する食事等について考え、判断することができ、生活習慣・健康管理について課題を見出し、考え、判断する態度が身についている。 C:乳児食・幼児食についての調理実習に興味・関心をもち、積極的・意欲的に取り組む態度が身についている。	プリント 小テスト 実技テスト	ワーク プリント レポート	ワーク レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度